

編集後記

ショウ

窓から差し込む夕日を背に、お気に入りのコーヒ一片手にリビングで憩う束の間のひととき。ふと、さわやかな空気の揺れを感じると、自分が呼吸と一体、境界が無いような錯覚を覚える。目を閉じれば、今の私を育んだ幼い頃の記憶、旧家で過ごしたあの頃の風景、感覚も蘇ります。私は周囲の人々に守られ、奇跡的に確かに生かされているのだ。私は私のままで戯れていた。ただそれだけのことなのに、とめどなく感謝と嬉し涙が溢れます。

アリガ

今回、「宝彩瞑想会便り」でレポートさせていただいた5月の神戸合宿瞑想会は、「楽の森」という所で開催されました。ここは、e-講座受講生のオシヨキチさんが管理されている貸しスタジオなのですが、いつ来ても、とても気持ちの良い場所だなあ、と感じます。支部瞑想会も、リーダーのポコさんによるコーディネートで、ここで不定期に開催されています。関西近郊の方々は、ぜひ一度お越しになられて、この気持ち良さを体験してみてください。

チバ

宝彩BBマガジンの制作では、毎回いろいろな事が起こります。楽しい事や嬉しい事も多いですが、中には、トラブルやミスもあります。原稿が足りない、原稿が遅れる、編集作業が進まない、といった大きなことから細々したことまで。でも、スタッフそれぞれが自分のできることをやっているうちに、最終的になんとかなる。というか、全てがちょうどいい感じになるんですね、不思議なことに。さすが、修行の専門誌です!? インシャラー

あはは

新緑も更に進み、どんどん緑が濃くなって、とても躍動感に溢れて見えます。今のお気に入りには、その木々が生い茂る公園を歩く事。だけど、ぼーっと歩いていると、すぐにマインドはお祭り騒ぎ。そうはさせまいと、脚にあわせて左、左、左、左…、右、右、右、右…それだけを繰り返して言ってみます。そして、マインドが静かになれば、よりいっそう緑はきれいで、しあわせってこういう事よね～、と実感します。

ねぎ

今、この編集後記を書いているのは、梅雨の一步手前の時期なのですが、風に吹かれているだけで気持ちいいです。以前はただ夏が待ち遠しかったんですけど、この時期一番過ごしやすいですね。その気持ち良さを味わっていると、子供の頃の記憶が、ふと感じられます。でもなんだかはっきりしません。緑の中にあるような感じです。

かつちゃん

iPadが発売されて、電子書籍に注目が集まっています。私は本を読むのが好きで、時間があると書店に足を運びます。以前はよく本を買っていましたが、最近は図書館で借りることが多くなりました。紙の本は絶版になることもあります。新聞によると、電子書籍は絶版がないそうです。宝彩先生のご著書も、いつの日か電子書籍として発売される日が来るのかなあ…と、本棚を眺めながら想像しています。

トモ

「柳はみどり、花はくれない」本当にその通りだと、一休さんと同じ感動を味わうことが出来るようになった自分がうれしいです。風が頬をなでる感触。髪を通り抜ける爽快。陽ざしのあたたかさ。自然を五感で感じる心地よさを楽しんでいます。毎日が新しい発見の連続で、自然と笑顔がこぼれますね。そしたらまた、笑顔が返ってくる。自分の中に清々しいエネルギーが循環しているようです。ありがとうございました。

ひまわり

段々、自分がいい女になっていくようで(笑)毎日が、ただ単純に楽しい、面白い。週末に飲む仕事の後のお酒…それだけで幸せ! 夢も希望も持てるなんて、思ってもいなかった。でも、どんな未来であっても大丈夫! そう思うと、子供の時のように、こうあったらいいなって、思える自分が嬉しい! だって、たとえそうでもきつと幸せだから。私に起こること全てに感謝します。

む〜

私にも何かプレゼントできるものはないかと、自分の中を探して執筆してきました。一つ原稿を一つの作品へと仕上げていく過程で、編集者との意見交換が続きます。嬉しいこと、へこむこと、いろいろなことが起こります。「よろこびに厚みが出るよね」と夫がニコニコと言いました。そうなのです。贈物をいただいていたのは、私でした。みなさま、ありがとうございます。

宝彩有菜

「宝彩BBマガジン」の編集スタッフは原則6ヶ月任期で、今回は第3期目の中盤にあたります。いつものように、この号の制作過程も、とても、有意義で楽しく思い出深いものでした。内容も修行に役立つものばかりです。いずれも、体験に基づいた、とても読みごたえのある心温まる良い記事ばかりだと思います。是非、参考にしてください。このような素晴らしいマガジンが、号を重ねていることは、本当に嬉しいことだと思います。